



リーディングシアターフェス

2022 in 前橋文学館3階ホール

ただ港だけが

故郷だ

萩原朔太郎「天に怒る」より

原作 栗原飛宇馬
潤色 生方 保光
演出

2022年7月31日(日) 13:00~&15:00~開演

前橋文学館3階ホール

概要
定員:各回50名
観覧料:500円(当日支払)
※入場は開演の30分前です。

出演
鈴木ひかり (劇団ザ・マルク・シアター) 郡司 厚太
見城 由香 (劇団ザ・マルク・シアター) 大月 伸昭 (劇団ザ・マルク・シアター)
浅原 美佐 (劇団ザ・マルク・シアター) 萩原 朔美 (前橋文学館)

主催:前橋文学館 協力:NPO法人波宜亭倶楽部

電話予約
お問い合わせ 027-235-8011



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち
前橋文学館



あらすじ

大学の文芸部に入部した新入生・三智子は、風変わりな先輩・冬樹と、その恋人の聡子に会う。冬樹は、萩原朔太郎の対話詩篇「天に怒る」に
取り憑かれたような男で、たびたび周囲を巻き込んで、その一節を朗
読している。三智子はそんな冬樹に、真の芸術家の姿勢を感じるが、彼に
愛想をつかした聡子は、それが幻想に過ぎないことを告げて去って行く。
大学に来なくなった冬樹を三智子が案じていると、冬樹の携帯から着信
があった。だが、それは冬樹の父親からの電話であった。



鈴木ひかり

2014年劇団ザ・マルク・シアターに入団。
劇団の自主公演6作品や劇団以外にも、国重要有形民俗文化財・上三原田の歌舞伎の歌舞伎舞台創建200年祭にて「夏の夜の夢」、耳井啓明監督作品映画「リビングの女王」などにも出演。



郡司厚太

東京学芸大学大学院卒。大学在学中に演劇教育を学ぶ。
特に専門は即興演劇。現在は、地域でワークショップや舞台の実践を継続して行っている。a/r/t/s Lab主宰。
Elm歌曲研究会研究会員(教育、演劇)所属。



見城由香

学生時代にミュージカル三昧の青春を送り舞台の魅力に目覚める。いったん普通の大人に戻り、ウン年のブランクを経て2019年より劇団ザ・マルク・シアターに参加。型にはまらない振り幅の広い役者を目指して日々奮闘中。劇団公演のチラシデザインも担当。



大月伸昭

劇団ザ・マルク・シアター代表の大月です。ご縁がありまして、再々々度？リーディングシアターに参加させていただきます。毎回表現の難しさを学ばせていただいています。今回も素敵な仲間と熱い作品をお届けしますのでご期待ください。



浅原美佐

劇団ザ・マルク・シアターの舞台に立って10年。
役者だけでなく制作、会計、受付、大道具作成などいろいろな事に挑戦させて頂いています。
良い舞台をお客様に観て頂けるよう、日々精進して参ります。



萩原朔美

1946年11月、東京都生まれ。寺山修司が主宰した「天井桟敷」の旗揚げ公演で初舞台を踏む。俳優の傍ら、演出を担当し映像制作も始める。版画や写真、雑誌編集とマルチに才能を発揮する。著書多数、多摩美術大学名誉教授。2016年4月から前橋文学館館長。

ただ港だけが故郷だ

—萩原朔太郎「天に怒る」より—

〈原作〉 栗原飛宇馬
〈潤色・演出〉 生方 保光

〈スタッフ〉

照 明: 鈴木 乃伍(劇団ザ・マルク・シアター)
飯塚 清人
前橋文学館
音 響: 藤田ちさと(劇団ザ・マルク・シアター)
石倉小百合
当 日 劇団ザ・マルク・シアター
スタッフ: (堀口知子・篠原和江・みづき)
制 作: 劇団ザ・マルク・シアター

劇団ザ・マルク・シアター

HP&SNSにて最新情報更新中!!



@mrk_vine
@maruku_gunma
@marukutheater

<https://marukutheater.jimdofree.com>

予約方法

お申し込みは各回共、公演日の前月最初の日曜日から前橋文学館 027-235-8011まで
※ご予約は先着順となります。※入館に際しては、マスク着用等の感染対策をお願いいたします。※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催内容等に変更が生じる場合があります。ご来館の際は事前にホームページ、もしくはお電話にてご確認ください。

萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち
前橋文学館
TEL:027-235-8011 FAX:027-235-8512
<https://www.maebashibungakukan.jp>
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目 12-10

